

レジメンcode:	C50-42	備考
適応がん種:	乳癌	
レジメン名:	Pembrolizumab(術後補助療法)	
間隔:	3週間	

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
	キイトルーダ	200	mg/body	点滴(30分)	d1

* 術前薬物療法【C50-40:Pembrolizumab+wPTX+wCBDCA】4コース、
【C50-41:Pembrolizumab+AC】4コース実施し手術施行後、本レジメンを9コース実施する。

day1

1) 生食	50ml	1 本	ルート確保		
2) キイトルーダ		200 mg/body			
生食	50ml	1 本			
	主管①	点滴	30分	インラインフィルター必須	
3) 生食	50ml	1 本	フラッシュ用		
〈所要時間 約1時間〉					

【文献】

国際共同第Ⅲ相試験 (KEYNOTE-522試験 NEJM2022;386:556-567) PMID 35139274

【適応】

- *ホルモン受容体陰性かつHER2陰性で再発高リスク(*1)の乳癌における術前・術後薬物療法
(*1): 術前薬物療法を開始する前に、画像診断又は臨床診断によりTNM分類でT1cかつN1~2
又はT2~4かつN0~2に該当する遠隔転移を有しない患者
- *PD-L1発現の有無は問わない。

*甲状腺機能障害、下垂体機能障害及び副腎障害があらわれる事があるため、投与開始前及び投与期間中は定期的に
内分泌機能検査を実施すること。

◎検査セット登録あり: 場所 カルテ→(検体)→(特殊セット)→(免疫チェックポイント初回) (免疫チェックポイント2回目~)

- *インラインフィルター(0.2~5μm)を使用する。
- *調製時、又は希釈後に振盪により微粒子が生成される可能性があるため、バイアルは振盪せず、激しく攪拌しない。
- *生食又は5%ブドウ糖に溶解する。同一点滴ラインを使用して他の薬剤を併用同時投与しない。
- *希釈後、25℃以下で6時間以内または2~8℃で合計96時間以内に使用する。
- *有害事象(肺、肝、内分泌障害、皮膚、胃腸、腎、神経関連など)対処アルゴリズムを参照する。
- *臨床試験での検査スケジュール、投与延期または休薬基準を参照する。